

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	23			シート作成者		-	-	
事務事業名	湘南広域都市行政協議会事務			事務区分	自治事務	部課かい名	企画部広域事業政策課	
事業の目的	住民サービスの向上、地域の活性化、行政の合理化・能率化			事業の目標		2市1町による広域連携施策に関する事務の管理及び進行について関係市町の連絡調整を行う。		
事業の概要	公共施設の相互利用及び共通する課題に対する調査研究、並びに連携事業の推進のため、藤沢市及び寒川町と連携調査を行う。							
対象	市民、事業者、職員			事業の性質区分		政策	業務計画	■
指標	湘南広域都市行政協議会の開催回数(第2次実施計画) 広域連携に向けて取り組んだ新規事業の累計件数(第3次実施計画)							
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
6回	4回 (32件)	36件		40件		44件		
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください		
事業費	実施計画事業費	-	101,000	101,000	101,000			
	予算額	101,000	101,000					
	決算額	101,000						
	執行率	100.0%						
	従事者数	1.34	1.24					
	職員	1.34	1.24					
財源内訳	臨時・非常勤等							
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	101,000	101,000					

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
限られた行財政基盤の中で、多様化・複雑化する住民ニーズに迅速かつ的確に対応しつつ、事務の効率化を図っていくためには、他自治体との広域連携を推進する必要性がある。	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	・各市町の首長が集まる会議を年4回開催したが、その会議を有効に行うことができたか問題が残っている。 ・ルーティンワーク的に実施されている事業も多い。 ・新たな広域連携事業として4事業について検討調査したが、28年度に取り組む事業は1つであった。 ・湘南広域都市行政協議会の認知度が低い。
事務効率	・定例会・連携懇談会・幹事会・合同会議等の会議資料作成に時間を費やしすぎる傾向にある。 ・定例会の会議議題や運営方法に工夫がなかった。 ・新たな広域連携に取り組むまでに時間がかかっている。
事業成果及び事務効率に対する評価	
成果があがっているが、実施手法は効率的でない	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	・第3次実施計画においては、「広域連携推進事業(湘南広域都市行政協議会)」として名称を改めた。 ・定例会・連携懇談会の会議議題の工夫や運営方法の見直しと会議資料の簡素化。 ・事業計画書の見直し(いつまでに目標を達成するかを明確にする。成果目標・数値目標を明確にする)。 ・情報発信のあり方(SNSの活用)。 ・市町村振興協会助成金の各市町の取りまとめ時期や配分等の内容の見直し。 ・新たな助成金・補助金等の確保を目指す。 ・新たな広域連携の創出に対する取り組みを積極的に進めていく。

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	31			シート作成者	-	-		
事務事業名	寒川町との広域連携推進事務			事務区分	自治事務	部課かい名	企画部広域事業政策課	
事業の目的	寒川町との効率的な行政運営を推進するため、課題の整理を行い、広域連携事業を実施に向け検討する。			事業の目標		茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書（平成26年3月策定）に基づく各取組を計画通りに実施する。		
事業の概要	茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書には、住民サービスの向上、事務の効率化及び市町相互の組織強化の3つの目的を掲げ、社会教育講座の共同開催や職員の人事交流、市町にまたがる広域公園の整備等の取り組みを行っている。							
対象	市民・事業者・職員			事業の性質区分	政策	業務計画	■	
指標	調査研究に取り組んだ事務数（第2次実施計画） 調査研究を踏まえ、茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書に新たに位置付ける事業、又は見直しを行う事業の数の累計（第3次実施計画）							
27年度（第2次実施計画）		28年度（第3次実施計画）		29年度（第3次実施計画）		30年度（第3次実施計画）		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
2事業	3事業 （17件）	17件		17件		18件		
事業費	27年度		28年度		29年度		30年度	
	実施計画事業費		-		0		0	
	予算額		7,674,000		0			
	決算額		6,954,968					
	執行率		90.6%					
	従事者数		0.7		0.54			
	職員		0.7		0.53			
	臨時・非常勤等				0.01			
財源内訳	特定財源		国庫支出金		6,954,968			
			県支出金					
			地方債					
			その他					
			一般財源					

※金額については1円単位で記入してください

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>社会を取り巻く環境は複雑化・高度化しており、基礎自治体である市町村が行う事務の内容も同様に変化している。特に行政区域を越えた行政需要は、単独の市町村では解決しがたい問題となっている。</p> <p>人口減少や少子高齢化社会を踏まえ、各市町村は限られた行政経費の中で住民ニーズにしっかりと対応しつつ事務の効率化を図っていくためには、単独の市町村で行うだけでなく、複数の市町村で広域連携を推進していくことが求められている。</p> <p>茅ヶ崎市と寒川町は、住民の通勤や通学、経済活動、住民活動等が同一の圏域としてまとまっているため地域的な結びつきが強く、これまでも官民間問わず様々な広域連携・交流が行われてきた。こうした状況を踏まえ、茅ヶ崎市・寒川町の圏域としての共通課題の解決やこれまでの結びつきの強さを活かした新たな施策展開を図るため、平成26年3月に茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書を策定し、住民福祉の向上を目指した取組を進めている。</p>	
事業実施状況に対する分析（課題の抽出）	
事業成果	<p>○茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書に基づき、1市1町共通の社会教育講座の開設や歴史文化財等普及事業としての浜降祭をテーマとした企画展の実施、職員の人事交流（企画部門・産業振興部門・環境部門・消防部門）、教員の人事交流（小学校1名・中学校1名）、消防通信指令業務の共同運用の開始など16項目の取組を行っている。</p> <p>○平成27年には、総務省「新たな広域連携促進事業」のモデル事業として採択され、「総合的な保健福祉サービス」、「在宅医療・介護の連携」及び「豊かな長寿社会に向けた取り組み」の3つをテーマに茅ヶ崎市・寒川町の広域連携の可能性について調査研究を行い、その研究結果を報告書としてまとめて提出した。</p> <p>○消防広域化に向けた取組については、通信指令の共同運用の実施状況を踏まえつつ、広域化によるメリットである圏域の消防力強化や財政上の優遇措置という観点から、今後も引き続き検討を進めるべきと考える。</p> <p>○平成29年4月の保健所政令市移行に伴う、茅ヶ崎市・寒川町の保健医療分野における広域連携の取組については、昨年度の総務省からの委託事業として実施した調査研究結果を踏まえ、具体的な連携事業について「茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書」への位置づけを目指す。</p>
事 務 効 率	<p>○茅ヶ崎市・寒川町広域連携検討会議の事務局を広域事業政策課が担っているが、各取組に係る進捗管理や新たな広域連携事業に関する調査研究等、本事業に求められるニーズは高く、それに応じて担うべき事務の質と量が高まっている。</p> <p>○各事業所管課に対しては、合同分科会での全体説明を通じて、年間スケジュール等を示すことにより円滑な事務執行を行えるよう工夫している。</p>
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	

3 今後の事業展開（事務改善）

今後の事業展開（事務改善）	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業（活動）の効率・成果を高める	<p>第3次実施計画においては「広域連携推進事業（寒川町）」に名称を改めた。</p> <p>平成28年度は「茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書」の検証期間であり、各取組におけるこれまでの効果や今後の方向性について検証を行うこととしている。</p> <p>具体的には、共同講座や企画展等の受講者アンケート調査の集計、各事業の実施体制に係る手法の検討（市町共催や実行委員会方式等）及び各事業の実施に係る経費の検出等が検証事項として想定されるが、そうした様々な課題の洗い出しとその解決を通じて、各事業の成果をさらに高めることを目指す。</p> <p>また、各分科会における検証結果を踏まえて、茅ヶ崎市・寒川町広域連携検討会議において協議し、具体的な成果が見込まれない事業については見直しを行う。</p> <p>なお、両市町の議会に対して検証に係る中間報告（10月～11月）を行うとともに、年度末には茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書の改定を行う。</p> <p>改定した「茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書」に基づき、平成29年度以降、広域連携の取り組みを推進していく。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]